

発 言 通 告 書 要 旨 (1 枚目 / 全 3 枚)

氏 名 南 出 貞 子

発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
1			温泉シンポジウム in 加賀の情報発信について 2 月 22 日に加賀市において、能登の応援や関西大阪万博での温泉文化発信に向けて温泉シンポジウム in 加賀が開催され、温泉ツーリズム推進協議会発足後 2 回目となるシンポジウムが開催された。 温泉シンポジウム in 加賀を終えて、今後加賀市の三温泉のそれぞれ魅力をどのような形で発信し、加賀温泉郷の誘客等に繋げるのか具体的に示せ。	
2			エンジン O 1 in 加賀温泉実行委員会運営事業について 加賀市は 2025 年に合併 20 周年を迎え、山代温泉開湯 1300 年の節目を迎える。この事業について、昨年 12 月定例会で質問した際、メイン会場は開湯 1300 年を迎える「山代温泉」とのことで、今年 9 月 5 日から 7 日にかけて加賀百万石で「エンジン O 1 文化戦略会議オープンカレッジ」と銘打って大会委員長として辰巳拓郎氏を迎えての開催となる。この事業は、文化・芸術・スポーツや経済など日本を代表する各分野の第一線で活動する表現者・思考者達がさまざまなテーマに沿った講座やイベントを実施する知の交流を行う、年に一度のイベントである。 そこで、本事業の実行委員会はどういうことを担い、どのようなメンバー構成となるのか。また、市民や各団体への周知方法や参画について具体的に示せ。あわせて、次年度への継続事業と加賀市の目指す姿を示せ。	
3	(1)		学校教育ビジョン推進事業について 本事業は、常識や前例にとらわれず、ゼロからイチを生み出す力、問題発見力、課題解決力や革新性がこれからの時代の子どもたちにも求められる力となり、「そろえる教育」から「伸ばす教育」へ、一人ひとり、それぞれの可能性を最大限に開花させる教育、「子どもが主役」の授業づくりを推進することだが、次の 2 項目について質問する。 未来は自分で創るプロジェクトについて 本プロジェクトに 12,157 千円が計上されているが、本プロジェクトの概要と事業内容を示せ。また、加賀市の強みであるプログラミングを小学 1 年生から実施して教科横断の課題解決型・探求型学習を更に推進することだが、この具体的内容とどれくらいの成果を想定しているのか示せ。	

発 言 通 告 書 要 旨 （ 2 枚 目 ／ 全 3 枚 ）

氏 名 南 出 貞 子

発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
	(2)		地域と一緒にプロジェクトについて 本プロジェクトに 18,873 千円が計上されているが、本プロジェクトの概要と事業内容を示せ。また、地域の力を学校の力に繋げるため、地域と一緒に子どもを育てる環境づくりを推進し、さらに中学校の学校部活動を段階的に地域移行し、地域で子ども達のスポーツ・文化活動の場を作るとあるが、具体的な内容と国や県との連携体制について示せ。あわせて、部活動地域移行に関して、市外への旅費（電車、バスの運賃など）の扱いはどのようなになるのか示せ。	
4			地域共生社会推進全国サミット開催事業について 昨年奈良県生駒市で開催された本サミットに、会派自民かがやきの視察として参加した。生駒市の会場は多くの人であふれており、熱い雰囲気であった。 本年は 11 月 20 日、21 日に加賀市文化会館と加賀百万石で開催とのことで、駐車場や館内の設備など大変な作業になると想定されるが、その開催内容やどのように加賀市の魅力発信に繋げるのか示せ。	
5	(1)		ライフデザイン推進事業について 地域子育て相談機関（児童センター）設置事業について 本事業は、妊産婦、子育て世代、子どもなどが気軽に相談できる身近な相談窓口として、児童センターにおいて相談対応・情報提供・関係機関等との連携調整のほか、子育て応援ステーションとも連携して支援するとのことだが、看板の設置も含め市民への周知や具体的な相談対応など詳細について示せ。	
	(2)		産後ケア事業について 本事業は、退院直後の母子に対する心身のケアや育児のサポートを行い、安心して子育てができる支援体制を確保して、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を行い、子育て世代の安心感を醸成することを目的とした事業とある。 産後 1 年未満の方を対象とした事業であるが、ケアの提供方法として訪問型、通所型、宿泊型とあるなかで、実態として毎年の利用件数を示せ。また、本事業のこれまでの成果と利用者の反応について問う。	

発 言 通 告 書 要 旨 (3 枚目 / 全 3 枚)

氏 名 南 出 貞 子

発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
	(3)		プレコンセプションケア推進事業について 本事業は、将来の妊娠を考えながら自分たちの生活や健康に向き合うことを推進する事業である。男女問わず将来の安心・安全で健やかな妊娠・出産に備えた健康管理を行う取組を普及啓発するため、今回、当初予算として 2,497 千円計上されている。次の 2 点について問う。 ①「プレコンセプションケア」概念の幅広い普及について普及するための実施方法を示せ。 ②医療機関等での相談支援の推進について プレコンセプションケア検査（仮称）とあるが、この検査の実施方法を示せ。	
6			大聖寺実業高校生からの提案について 2 月に加賀市議会と大聖寺実業高等学校との意見交換会を行った。班の提案のテーマとして「みんなで作ろう share 加賀」～向こう三軒両どなり・地域コミュニティが残る街を作る～と掲げ、意見交換を行った。加賀市内には病院、看護宿舎跡地や温泉プールなどがある点を考慮し、地域コミュニティ「share 加賀」を設立して、人と人との触れ合いの場として、また災害時の避難所として活用するとの提案があった。具体的な設立場所として、同一敷地内に山中温泉ぬくもり診療所があるエリアが地域コミュニティとして適所であるとのことであった。この提案について所見を問う。	
7			下水道管の点検について 1 月 28 日に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故では、下水道管の点検で管内の腐食やひび割れが多数発見されたとの報道があった。そこで、令和 6 年能登半島地震などの影響により、加賀市内でも道路状況の変化などを含め被害が出ている。そこで、加賀市の下水道管の状況について問題はないのか。今後各地での点検などを含め、所見を問う。	